

寺田氏、政治資金また不備

後援会、借入金600万円未記載

寺田稔総務相の政治資金

を巡る問題が次々と明らか

になっている。8日に開かれた衆院倫理選挙特別委員会では、政治資金規正法を所管する総務相としての資

質を問う声が相次いだ。

8日前の委員会で、立

憲民主党の後藤祐一氏は、

政治団体「寺田稔與後援

会」の政治資金收支報告書

に寺田氏本人から600万

円の借入金があつたと記さ

れてるにもかかわらず、翌年以降は記載されていな

いと指摘した。寺田氏は、

600万円は翌年に返済さ

れると説明し、「(返済の

記録は)当然記載すべきも

の」だと不備を認めた。ま

た、返済原資が後援会にあ

ったかどうかは確認中だと

説明し、「必要が生じれば訂正をしなければなら

ない」と述べた。

寺田氏は、異後援会への貸付金1250万円を資産等報告書に記載していなか

つたとして10月に報告書を訂正。「事務的なミスだった」(寺田氏)と陳謝した。

寺田氏は「政治資金規制を

欄に自身の名前が記された

からは政治資金を家族に還

流させる「ファミリービジ

ネスだ」と批判された。

さらに、竹原後援会の

19、20年の政治資金收支報

内容を取り上げ、「店側で

なく、寺田事務所の方で

宛名を記載したのではない

か」と迫った。寺田氏は

「誰が書いたか確認する」と答えるにどどまつた。

寺田氏の政治資金を巡っ

ては、異後援会などが事務

所を置くビルの賃料とし

て、ビルの一部を所有する

妻に12～21年の10年間で計

2688万円を支払ってい

たことが明らかになつてい

る。寺田氏は「適正な支払

たことが明らかになつてい

る。寺田氏は「適正な支払